

われらが町内 わがグループ

クラシックから 演歌まで ～こだまコーラス～

No. 45

今年の文化会館のこけら落して、美しい歌声を聞かせてくれた「こだまコーラス」は20代から70代までのお母さんたちのコーラスグループです。同会の前身は中央公民館主催の市民学校コーラス教室で若狭ケイ先生の指導を引きつづき受け昭和51年11月に「こだまコーラス」として発足しました。



現在会員は30人（ほかに花岡地区で活動する会員が20人）で、練習は月3回、水曜日の午前10時から2時間中央公民館を利用して行っています。

会の特徴としては会員のほとんどが音楽にはまったくの素人であること、歌う曲がフォークソングやクラシック、映画音楽などから演歌までとバライティに富んでいることの2点が挙げられます。家庭の台所で一人で口ずさんでいたのをみんなで大きな声を出し楽しく歌おうというのが会の主旨ということで「いわゆる合唱のためのむずかしい曲を歌うというよりも、自分たちに適したやさしい曲をりっぱに歌いあげていきたい」と同会では話しています。

発表の場としては「教育の日」と「市民文化祭」がありますが、時には民間会社の記念式典の際などにお

呼びがかり出かけていくこともあります。今年も文化会館でも何度か歌う機会に恵まれました。「以前と違い素晴らしい音響効果の中で歌え感激でした」と会員の一人は話してくれました。同会ではほかに夏、冬休みや年末に反省会やバス旅行などで親睦を深めています。歌はいつでもつづき、十和田湖まで行って湖と青空の下で歌ったのも忘れられないことのひとつです。

日頃家の中に閉じこもりがちなお母さんたちにとって、おなかから思いきり声を出すのはストレス解消と健康のために最高、一緒に歌ってみませんか」と同会では呼びかけています。入会希望の方は同会会長の渡辺ミヨ子さん（☎42-4107）までご連絡ください。

個性を生かした 披露宴を

越前谷千鶴子さん
(婿ケケ森・24歳)

ある友人の結婚披露宴を紹介いたします。それは、列席者四十名ほどの会費制立食パーティー形式で、会場はレストランの小ホール、全員平服参加という気遣いでものでした。お色直しをせず時間の限り列席者の中でその喜ぶ姿が印象的であり、列席者

全員からのスピーチを聞く二人は幸せそのものといった感じでした。厳粛な儀式としての意味あいや、地域性、招待客数などの関係が一概にどのような形式が良いとは言えませんが、二人の新たな人生の出発（たびだち）としての意味を持ち、個性を生かした披露宴でありたいと思えます。金銭面、演出面共にエスカレートしつつある披露宴を合理化する運動が進められている中で、先に述べた披露宴が私にとっては印象的でした。

この上川沿公民館方式について、詳しいことをお尋ねしたい方は、実行委員会事務局（上川沿公民館☎421083）までお問い合わせください。

広報ディスカッション

広報ディスカッションとして、10月1日号広報で、近年ますます豪華になる結婚披露宴についてのご意見、ご提言を募集しました。寄せられた中から4つのご意見を掲載します。また、昭和54年以来地域の青年会や婦人会などが中心となり会費制結婚披露宴を推進している上川沿地区の実例も併せてご紹介いたします。なおご意見を読んでのご感想がありましたら広報係までお寄せください。

あなたはどうか考えますか？ 「結婚披露宴」

青年は金の威力に 魅力を感じない

深井弘美さん
(谷地町・35歳)

私は会費制結婚式を挙げた一人である。取組みは二〜三カ月前から始まり、会場の装飾、音響から料理、飲み物、披露宴のプログラム、進行までいっさいをサテラル仲間がやってくれた。会費は三千五百円（六年前）であったが、最近では六〜七千円である。一生にまたとない結婚披露宴だけに盛大さを願わない人はいない。その盛大さは内容は多種多様であり、そこに価値観の相違が現れる。同時に親と子の主体性の差異も現れる。親が親に披露宴をまかせれば、親としては金の威力を発揮するであろう。逆に、子が主導権を持つば青年らしい盛大さを求めて若さの威力を発揮しよう。

地域の味のする 心温まる披露宴

戸田正子さん
(池内・45歳)

会費制の結婚披露宴が提唱されて久しくなりました。職場によっては会費制が定着しているところもあるようですが、一般的にはまだまだです。特に農村部には、会費制の必要性はわかっていても、慣習から抜け切れず、ますます派手になってきているのが現状のようです。今年の九月、私の子供の結婚披露宴を七千円で行いました。これは、地元青年会と農協生活協会の協力によりまして、上川沿公民館で行ったものです。会費制については、日ごろ家族でいろいろ話し合っています。

参加者の共感を 得ること

匿名
(桜町・62歳)

たし、本人同士も当然のように受け入れてくれたので、何んか抵抗もなく踏み切れました。結婚式をやるには、物心両面にわたって負担が大変大きいのですが、私の場合はそんな苦勞や心配もなく、むしろ期待し、楽しみに待つておりました。七千円の会費では、内容的に粗末なのではないかと敬遠する人も多いようですが、ウエディングケーキの代わりには鏡餅に刀、フラワーサービスをするなど、いろいろ趣向を凝らし、地域の味のする心温まる披露宴だっと思っております。派手にお金をかけたありきたりの披露宴よりも、少ない予算の中で、みんなで知恵を出し合っ作った披露宴は、ほのぼのと、いつまでも二人の心の中に残ることでしょう。



巡りくる人生の一大行事であることは、是認するところである。この意義あるものを盛大に行うべきか、簡単なものにするかは人それぞれに認識の相違がある、また家々の家風や習慣等によって異なるが、一般的に言って家庭経済に合せた前者をとるのが主眼である父母の心情ではないだろうか。ただ前者を選択するとしても盛大の中に簡素化できるものはできるだけ排除してムダを省くことを忘れてはならない。

簡素化に取り組み 上川沿地区では

会費制結婚披露宴の実例として、上川沿地区では公民館施設を使い青年会などを中心に、冠婚葬祭合理化実行委員会を組織し簡素化を努めています。簡単にその内容を説明しますと、初めに結婚する当人の友人または両家による数名程度の世話人会を設けます。その際、要望があれば実行委員会で援助協力をします。出席者一人当たりの会費は七千円とし、内訳は料理、飲物代四千円、引出物に千五百円、印刷物四百円、世話人への謝礼百五十円、その他九百五十円となります。また相談、引出物は公民館が両家と料理の上発注します。お色直しは二回以内、宴は三時間以内となっています。これら取り決めのほか、みんなの心の豊かさを大切にしたいとこれを守ります。この運動を進めて住みよい地域づくりをします。実行委員の誓いとし、昭和五十四年十一月以来実施、これまでに十九組の結婚披露宴が行われてきました。

納税功勞



★藤島辰三郎氏(66歳) 大滝 市納税貯蓄組合連合会会長として、組織の育成と拡充発展に努め納税思想の啓蒙普及に尽力されるとともに納税実績に向上に寄与されました。



★小池千鶴子氏(63歳) 花岡町 市民委員、児童委員として多年にわたって、民生の安定と児童福祉の向上に尽力し、明るい地域社会の建設に貢献されました。



★佐々木半二郎氏(64歳) 長門 同氏は、昭和五十七年六月四日付の表彰)



同氏は、多年にわたって大館市交通安全母の会連合会会長として、母子の交通安全の啓蒙指導に尽力されました。



市長の対話ノート
No. 58
社会生活の秩序を維持するためにルールを守ることが重要です。自由は保障されながらも最小額のルール(規制)が必要であり、それが法治社会であります。行革も必要でしょうし、財政事情が大変なことは衆人の認めるところで、だからといってルールや、労使の道理を捨て、公務員を率先して範を示せということになるでしょうか。サービス至上とする公務員労働者だけに犠牲を求めて生活苦におとし入れ、昨年以上の地域経済への影響を考へる時、政府の一人物、仲裁者(定案)は誤りであるといわなければなりません。

ましてや、国がそうするから、地方公共団体も同様にしろとはどういふことでしょうか。自治体は国の出先でも外郭団体でもありません。地方自治体は住民の生活と権利を守り発展させるために、住民の意志と判断で管理運営されるべきものであり、外からの介入は許されるべきものではありません。市民のくらしを良くする市政、それだけが願いです。正常な地域経済の活路を求めて大いに論議を深めたいものです。

留山健治